

HIO

教区新報

YOG



兵庫教区教務所
ホームページ



兵庫教区教務所
facebook

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】 兵庫教区広報部

2026. 8 226号



神戸別院に仏婦会員約350名が一堂に会した

近畿仏婦大会開催へ向け機運高まる 兵庫教区仏婦連盟大会に350名が集う

6月18日、兵庫教区仏教婦人会連盟大会が神戸別院において開催され、約350名の会員・有縁の方々が参加した。

総連盟講師の田中信勝氏による記念講話が行われた。記念講話では、仏教婦人会のこれまでの歩みや今日的な役割、そして阿弥陀如来の心

について語られた。参加者は熱心に聴聞し、歌謡指導が行われ、会場それぞれが日々の活動やお念仏の生活をあらためて見つめ直す機縁となった。また、アトラクション

念仏のみ教を味わい、仏教婦人会活動の意義をあらためて確かめる大会となった。

◆本大会では、9月30日に神戸ポートピアホールで開催される第47回西本願寺近畿地区仏教婦人会大会についても紹介された。

近畿各地の会員がともにみ教えに聞き、交流を深める貴重な機会であり、兵庫教区担当による13年ぶりの大会として、多くの方々に参加いただき、ともにみ教えに聞く尊い縁となることを願っている。

◆帰る家があるってあったかいですね。阪神南組浄元寺宏林晃平

第47回 西本願寺近畿地区 仏教婦人会大会

期日 2026(令和8)年9月30日(水)

講師 〈記念講演〉
鍋島 直樹さん(龍谷大学教授)

会場 【大 会】神戸ポートピアホール
【懇親会】神戸ポートピアホテル

〈アトラクション〉
姜 曉艶さん(二胡奏者)

お問合せ: 078-341-5949(神戸別院)
メール: hyogo@modan-t.or.jp

大変好評にて
開講中です!!

第7回 11月14日(土)
真宗歴代と
妙好人の祖師像

第6回 10月10日(土)
和国の教主像

第5回 9月12日(土)
親鸞聖人の同朋像

講師 川添 泰伸 氏
1949年5月 宮崎県出身
1977年3月 龍谷大学大学院文学
研究科真宗専攻博士後課程単位
取得満期退学
2018年3月 龍谷大学を定年退職
(現在、龍谷大学名誉教授)
専攻分野 真宗学

毎月
第2土曜の
二〇二六年度
モダン寺土曜講座

親鸞聖人の師弟像 全7回

※2026年は
第2土曜に変更となります

時間 各回 13:30~15:30

場所 本願寺神戸別院
参加費 各回 1,000円

本願寺神戸別院
恒例法要一覧

- 8月15日 孟蘭盆会
本願寺神戸別院輪番
西本浩二師
- 9月22、24日 秋季彼岸会
滋賀教区 坂田組 正行寺
藤浪 正明 師
- 11月26、28日 報恩講法要
東京教区 鎌倉組 善了寺
成田 智信 師

教区実践運動委員長に
竹内俊之氏が再任

2026(令和8)年5月13日
付で、竹内俊之さん(掛龍東組浄蓮寺)が「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」兵庫教区委員会委員長に就任されました。

たけうち としゆき
竹内 俊之 さん

クレリ東灘ホール
(株)花六総本店

0120(00)8769 FAX 078(851)2396
〒658-0041 神戸市東灘区住吉南町3丁目2-31

satsumaya KYOTO

浄土真宗では、この世の命を終えるとき「お浄土へ帰る」と聞かせていただきます。お浄土はまだ行ったことのない世界なのに、なぜ「行く」ではなく「帰る」というのでしょうか。◆病院で生まれたばかりの赤ちゃんは、病院から初めて家へ向かうとき、「おうちへ帰ろうね」と迎えられます。◆初めての場所でも、待っていてくれる人がいるから「帰る」のです。◆阿弥陀さまのお浄土も同じです。阿弥陀さまは「南無阿弥陀仏」のお念仏となつて、いつも私にはたつきかけ、「一緒に帰ろうね」と呼び続けてくださっています。◆そこには先に往かれた懐かしい方々もおられます。帰りを願われ、待っていてくれる場所があると聞かせていただく、今日という一日を大切に歩ませていただこうという思いが生まれるように感じます。◆帰る家があるってあったかいですね。

御本山御用達
御開明社々員
株式 会社
さつま屋法衣店

〒600-8334 京都市下京区油小路通六条下ル
TEL 075-351-1548(代) FAX 075-351-1008
☎ 0120-310-063
https://satsumaya.kyoto/

楠淳證氏 宗門の最高学階・ 勸学を授与される

宗門の最高学階・勸学が楠淳證氏（出石組福成寺住職）に授与され、6月24日に楠勸学和上の記念講演と祝賀会が開かれた。

当日は宗門関係者が多数参加し、記念講演では楠和上による長年の研鑽に基づく真宗教学の一端が披露された。また、祝賀会では出席者より兵庫教区ひいては宗門の真宗教学の未来を担う指導者として、今後の活躍に大きな期待が寄せられた。

ここで、楠勸学和上よりのご挨拶を紹介させていただきます。



ご講演いただいた 楠勸学

『本年二月十九日付で、浄土真宗本願寺派の「勸学」を拝命いたしました。身に余る光栄と思うと共に、その重責に身心ともに引き締まる思いをいたしております。その後、五月二十八日の親授式を経て、六月二十四日には神戸別院におきまして記念講演会を開いていただき、その直後には場所を変えて祝賀会まで開催していただきました。遠路お越しいただいた多数の皆さま方よりご祝意を頂戴いたしましたこと、あらためて厚く御礼申しあげる次第です。記念講演では「臨終正念と平生業成―死に向かう人の心のケアと看取りの心がまえ―」と題として、まぬがれがたい死を前にして仏教は何を説いてきたのか、そして浄土真宗は何をどのように説いたのか等について、お話をいたしました。私たちにとって大事なことは、「後生の一大事」にあります。このことを少しでもお伝えできればと願ひ、御恩報謝につとめていく所存です。』

真宗とゆかりある比叡山のお堂

親鸞聖人はかつて20年間、比叡山で修学されていました。その比叡山には数多くのお堂がありますが、本連載では、特に浄土真宗とゆかりがあるお堂をご紹介します。関わりを知ると、また違った視点からお参りできるかもしれませんよ。

常行三昧堂

常行三昧堂は阿弥陀如来を本尊とするお堂で、『般若三昧經』に基づく常行三昧の道場であることから「般若三昧堂」とも呼ばれ、「常行堂」と略称されています。常行堂は、織田信長の比叡山焼き討ちまでは東塔・西塔・横川の三塔それぞれにありましたが、現存するのは西塔の常行堂のみとなっています。現在のお堂は焼き討ち後の文祿四年（二五九五）に再建され、桃山時代に建てられた寺院建築の遺構として、国の重要文化財に指定されています。常行堂は、向かって右側に同じ形をした法華堂（本尊は普賢菩薩と渡り廊下で結ばれており、かつて弁慶が廊下に肩を入れて両堂を担ったとの言い伝えから、「にない堂」と称されています）。

常行三昧とは、中国天台の祖である天台大師智顗の『摩訶止観』に説かれる四種三昧のうちの一つで、不眠・不休・不臥で九十日間にあたりつづけて口には阿弥陀仏の名を称え、心には仏を念じつづ、身には堂内を行道する修行です。常行三昧は、伝教大師最澄が唐から比叡山に伝承

して以来、千二百年を経た現在も比叡山の僧侶によつて修されています。

常行堂は元々、常行三昧を修する根本道場として最澄によつて建立が計画されましたが、最澄の在世中には実現せず、彼の遺志を受けてこれを創建したのが、弟子の慈覚大師円仁でした。円仁は唐の五台山を訪れた時、竹林寺でかつて法照という浄土教者が始修した三昧念仏の音曲を学び、承和十五年（八四八）に帰朝してこれを比叡山に伝え、東塔の大講堂の北側に建立したのが常行堂の始まりとされます。円仁は、仁寿元年（八五二）に建立した常行堂において、五会念仏を初めて弟子たちに伝授し、円仁が遷化した翌年の貞観七年（八六五）に、弟子の相応和尚が円仁の遺言であつた念仏法会を始めました。

五会念仏とは、五つの音階と節を付けたメロディーのある念仏で、これが比叡山で韻律の華麗な念仏を称える「不断念仏」の起源となります。さらに円仁は、「引声阿弥陀経」という『阿弥陀経』を一字十二拍で称える音曲も唐から比叡山に伝え、これらの旋律豊かな不断念仏が「山の念仏」として、後に叡



にない堂（左：常行堂、右：法華堂）
※堂内は非公開

龍谷大学相愛大学講師
阪神西組 信行寺住職 **四夷法頭**

邑久光明園 降誕会法要

5月11日（月）邑久光明園の西本願寺会館にて降誕会法要がお勤まりになった。

ご参加される法話会の方々は女性会員が中心で、降誕会の他に春秋の彼岸、お盆、報恩講をお勤めされている。

この度も、会場である西本願寺会館をお荘厳し、多くの供物をお供えしてのお勤まりとなった。

参加者減少傾向ではあるが、今後も邑久光明園での各種ご法要が継続していく事を切に願っている。

仏教青年連盟

宗祖降誕会参拝



教区の若い力も頑張っています!!

五月晴れとなった5月24日（日）、本願寺神戸別院「宗祖降誕会」に兵庫教区仏教青年連盟の会員が参拝した。法要に先立ち仏青の新旧委員長により「伝供（てんぐ）」が行われ、宗祖

親鸞聖人にお餅をお供えした。法要中は会員が焼香へと進み、共に親鸞聖人の誕生を喜ぶ尊い縁となった。法要後には総会・懇親会も開催され、大学生から社会人を中心に約15名が参加し、終始賑やかな懇親会となった。中には恋バナに花を咲かせる会員も。仏教青年連盟では、共に活動してくれる仲間を募集しているので、興味のある方はぜひ教務所まで一報を!!

近畿同朋運動推進協議会 第66回総会・会員研修会

5月26日、本願寺伝道本部において第66回総会・会員研修会が開催された。当日は勤行に続き総長挨拶や助成金伝達、標語採用者の表彰が行われた。研修会では金光敏（キム クアンミン）氏が「ともに生きる多文化社会日本のいま」緩やかな紐帯（ちゆうたい）を広げていくために」をテーマに講義し、参加者は現代社会の課題と



移民問題等への向き合い方について学んだ

宗務の中期計画及び 財政改革に関する説明会



ZOOM 接続でも多くの参加をいただいた

共生の在り方について学びを深めた。その後、総会にて事業報告と新年度計画が審議され懇親会では教区を越えた交流が温かく行われた。

5月29日、本願寺神戸別院を会場に「宗務の中期計画及び財政改革に関する説明会」が開催され、教区内寺院の住職をはじめ教区関係者が出席した。

説明会では、宗派が策定した「宗務の中期計画」に基づく今後の宗務運営の方向性について説明が行われるとともに、社会情勢や宗門を取り巻く環境の変化を踏まえた財政改革の趣旨と具体的な取り組みについて理解を深めた。

宗派では、将来にわたり持続可能な宗門運営を実現するため、財政基盤の強化に取り組むこととしており、その一環として、宗派が所有・管理する建物や文化財の維持管理に必要な財源を確保す

保育新任研修会

2026年6月6日（土）本願寺御影堂にて近畿ブロック保育連盟「新任研修会・補任式」が開催された。内容は、保育連盟加盟園に新たに就職した新任の方、若しくはまだ補任式を受式されてない方が対象で、毎年開催されている。

本年度は兵庫教区の保育連盟加盟園より23名もの参加があり、開法会館での研修会の後、参加者は厳かな



補任状を授与され気持ちを新たに

雲囲気の中、本願寺御影堂にて教化部部長より補任状を受けとった。

受式者はこの補任式を通じて、「まことの保育者」としての意識を高め、今後の保育に生かしていただくきっかけとなった。

特別法務員協議会

総会並びに研修会



一同が学びを深めた

6月9日（火）、特法協議会並びに研修会が開催された。総会では、2025年度事業報告・決算報告、2026年度事業計画・役員改選予算が審議された。総会に引き続き勤式指導員研修会報

告、研修会が行われた。研修会では本願寺式務部知掌・本山法式儀礼研究所儀礼専門員の橋将海氏より「本願寺の御荘厳・御供物を中心」に」をテーマに講義が行われ、会員一同が学びを深める研修会となった。

2026（令和8）年度 「組長研修会」

6月14日・15日、本願寺において「組長研修会」が開催された。本研修会は、教団が教区・組という単位で構成される中で、組の代表である組長が「任職総参拝」に先立ち、宗門の中期計画や財政改革、DX推進など今後の宗門運営の方向性を共有することを目的とするものである。中期計画の「スローガン」に「ともに念仏申す身となる」を掲げ、伝道教化の強化と組織基盤の整備が示された。この日は第3回であり都合により参加できない組長は第1回または第2回に参加することができた。



これからの宗門の課題に向き合う組長方